

日本の将来を憂えて

73 歳にして世界に輝く、「ローマ人の物語」で有名な女性作家の

「日本人へ（なぜリスクをとるリーダーが出ないのか）」

「日本人へ（ローマの滅亡は 500 年日本の衰弱は 20 年ならば、どうする？）」

の 2 冊を紹介します。

○人間ならば誰にでも、現実のすべてが見えるわけではない。

多くの人は見たいと思う現実しか見ていない。 —ユリウス・カエサル—

○自分で自分を守ろうとしないものを誰が助ける気になるか。 —ニコロ・マキアヴェッリ—

借金大国でどうして円高なのか、民主党への政権移行がどうしてこうもギクシャクするのか、
一体この国を守るのは誰なのか、私達ではないのか、国のリーダーがどうして短命なのか、
拾い読みしても結構考えさせる所があります。

平成 22 年 9 月 6 日

理事長 市丸 喜一郎

参考書：「日本人へ リーダー篇」

「日本人へ 国家と歴史篇」

塩野 七生 著

文春新書

(はまゆう 倶楽部図書)